

「チームつつじが丘」4年間継続して

校長 岩澤 尚彦

梅の花が咲き誇り、傍らによると甘く春を感じさせる香りが漂います。しばし多忙さや喧騒を忘れさせてくれます。先日の授業参観、懇談会には、多くの保護者の皆様にお越しいただきました。心より感謝申し上げます。子どもたちは学習の成果として、自分の成長を自ら感じとる姿を見せてくれていました。

4年前、校長として着任し、4月から5月にかけて、学校づくりのイメージを「チームつつじが丘」という言葉に込めて発信してきました。今でも私は、「学校をつくっていく主役となるのはみなさんです。」や「先生やおうちの人や地域の人たちは、みなさんの成長や学習のために協力して応援し、一緒につつじが丘小学校をつくっていきます。」と発信し続けています。

本年度も教育活動を振り返ると、子どもたちだけではなく、様々なところで保護者や地域の皆様、本校にかかわっていただきました関係諸団体の皆様のご支援ご協力があったからこそ、「チームつつじが丘」が実現したのだと思います。校長として、本校で目指している「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、お力をくださったことに心より感謝申し上げたいと思います。

さて、本校の教育活動のために発足された学校運営協議会は、中学校ブロック学校運営推進協議会を含め、本年度は5回の協議会を開催することができました。その5回目となる本年度最後の運営協議会を、2月22日(水)に行いました。当日は、14名すべての委員の皆様にご出席いただきました。今回は、

○本年度中期学校経営方針の振り返り

- ・学力向上アクションプラン
- ・豊かな心の育成推進プラン
- ・健やかな体の育成プラン 以上3つのプランの具体的取組の成果と課題

○学校評価の結果報告

を中心に、校長、副校長、児童支援専任、養護教諭より説明させていただき協議を行いました。いただいた主なご意見等は次の通りです。

- 人権教育の各学年の取組は長年継続され、地域や外部団体の連携を図りながら推進しているのはすばらしい。
- 学校は教職員の人材育成をきめ細かにしている。今後も大切にしてほしい。
- 保健委員会の取組はよい。体幹を鍛える教育の大切さに共感。
- 子どもの発想を活かし、子どもと一緒に学習を進めていることがすばらしい。じっくり考えて自ら動いているのがよい。
・授業研究・55周年の取組・植栽栽培活動等
- 豊かな心の育成プランのさらなる継続を望む。家庭内のコミュニケーションも大切に思う。様々な起こることも、学校に任せるだけでなく家庭もしっかり協力していくことが大切。
- 授業ボランティアに参加して、保護者が授業に協力する大切さを改めて実感した。
- 学校評価の中にマイナス点もしっかり提示していることがよい。信頼関係があるからこそできることである。
- 中期学校経営方針の3つのプラン、学力向上については国語科や社会科において、進んで学んでいこうとする力が課題である。着実に伸びている、問題を解決しようとする理科の力を他教科・領域でぜひ積極的に転移させて欲しい。
- 公園の利用の仕方などの課題がある。公共の場としての在り方を考えていく必要がある。
- 登校できずにいる児童や家庭に、学校はしっかりと寄り添い、もうひとふんばりしてほしい。

成果として評価していただけたご意見もありましたが、課題としてご指摘いただくご意見もありました。成果については、さらなる発展を目指し、また、課題については、真摯に受け止め改善をしていく所存です。

来年度も、本校の子どもたちのよりよい教育活動をめざし、「チームつつじが丘」で皆様とともに作り上げてまいります。